

『ウルトラジュニアサッカー大会(2・1年生大会)競技規則細則』

改訂 2024年9月

1. 競技規則

(1) 時間

- ・8分-1分-8分とする。

(2) 人数

- ・ゴールキーパー1名、フィールドプレーヤー4名の5人制で行う。
- ・3名に満たないチームは不戦敗とする。

(3) 交代

- ・自由な交代とする。
- ・インプレー、アウトオブプレーに関わらず、交代ゾーンからいつでも交代できる。但し、交代する競技者がピッチを出てから交代要員の競技者が入ること。
ゴールキーパーの交代については、事前に主審に通知した上で試合の停止中に入れ替わることができる。当該反則により、競技人数以上でプレーに関与など著しくプレーに影響を与えた場合は、
 - ①プレーを停止する。
 - ②交代する競技者をピッチの外に出す。
 - ③交代要員に警告を与える。
 - ④試合を停止した時にボールがあった場所から、相手チームの間接フリーキックで再開する。
 以上の手順で対処する。
- ・GKの交代時、GKは境界線の最も近い地点から競技のフィールドを離れなければならない。
- ・GKとFPが入れ替わる場合、主審に通知した上で、プレーの停止中に入れ替わることができる。
- ・インプレー中に主審の承認なしに入れ替わった場合、アウトオブプレーになった時点で両者に警告を与え、プレーを停止した位置から、間接フリーキックで再開する。
- ・ハーフタイムやPK戦の前などで主審の承認なしにGKとFPが入れ替わった場合、懲戒罰の適用はせず、大会本部へ報告すること。

(4) 用具

- ・試合球は検定3号球(主催者用意)とする。
- ・キーパーはフィールドプレーヤーと違う色のユニフォームを用意する。(ビブス可)
- ・スパイクは禁止する。(トレーニングシューズ等)

(5) キックオフ

- ・キックオフからの直接のゴールインは得点と認めない。
- ・直接ゴールインした場合には、相手チームGKによるゴールスロー(手で投げる)で再開する。

(6) フリーキック(直接・間接)

- ・相手競技者は5m以上離れなければならない。
- ・ペナルティーエリア内の間接フリーキックは、**反則を犯した位置の最も近いペナルティーエリアのライン上から行う。**
- ・スライディングタックルは禁止とする。違反した場合は相手側に直接フリーキックが与えられる。

(7) キックイン

- ・ボールがタッチラインを割った場合は、相手チームのキックインで再開する。キックインの際、相手競技者は、キックインの地点から2m以上離れること。反則の場合、警告を与え、間接フリーキックで再開する。
- ・キックインからの直接ゴールインは認めない。ゴールインした場合は相手チームのゴールスローで再開する。
- ・キックインの際の助走は1歩(1m)までとする。反則の場合、1回目は口頭で注意喚起を行い、キックインのやり直しで再開する。2回目以降、反則を繰り返した場合は、相手チームのキックインで再開する。

(8) ゴールスロー

- ・相手チームが最後に触れたボールが自チーム側のゴールラインを越えた場合は、自陣のペナルティーエリア内からゴールスロー(ボールを手で投げる)で再開する。
- ・いかなる場合であっても、ゴールスローから相手のゴールに直接ゴールインした場合は得点を認めず、相手チームGKのゴールスローで再開する。

(9) ゴールキーパー

- ・バントキックは禁止とする。バントキックが行われた場合は、プレーを停止し、ゴールスローからやり直しとする。
- ・キーパーがバントキックに類似した意図的なトリックプレー(近くにいるFPに向かってボールを落とし、FPに浮き球を蹴らせる行為など)を行った場合、相手チームに間接フリーキックが与えられる。
 ゴールキーパーが基点となって意図的にトリックプレーを企てたとして、ゴールキーパーに対し反スポーツ的行為として警告される。
- ・いかなる場合であっても、キーパーから相手のゴールに直接ゴールインした場合は得点を認めず、相手チームGKのゴールスローで再開する。
- ・ゴールキーパーのゴールスローならびにキーパーから、ハーフラインを越えても良い。
- ・味方からのバックパスを自陣のペナルティーエリア内で手で扱った場合は相手側に間接フリーキックが与えられる。間接フリーキックは、反則を犯した位置の最も近いペナルティーエリアライン上から行う。

(10) コーナーキック

- ・コーナキックはコーナーエリア内にボールを置いて行う。
- ・その際、相手競技者は**コーナーアーク**から5m以上離れなければならない。

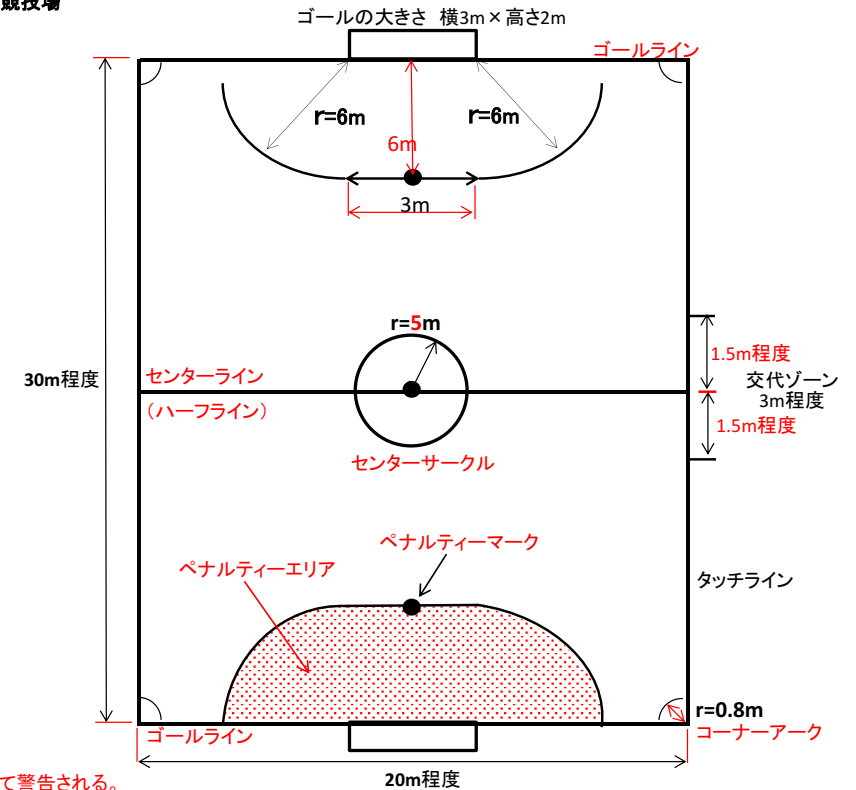
(11) PK戦

- ・3人制で行う。3人で決しない場合は**一方のチームが他方より多く得点するまで継続する。**

(12) その他

- ・オフサイドルールは適用しない。
- ・審判は2人制とし、1名の主審により試合が運営され、副審がクロスサイドを行う。
- ・**本細則に定めのない競技規則・反則と不正行為については、大会要項が定める年度の日本サッカー協会競技規則に準ずる。**
- ・ファウルや不正行為で競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することが出来る。

2. 競技場



※競技場の目安となる大きさは上述の通り。競技会場の制約(施設として変更できない競技用ラインなど)により変更を加えることは可とする。

用語	ゴールスロー	相手チームが最後に触れたボールが自チーム側のゴールラインを越えた場合の再開方法
	キーパーから	キーパーがペナルティーエリア内で保持したボールを味方競技者へ手で投げる行為のこと